

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語発達障害(脳性麻痺)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)
対 象 学 年	2年生	学期	前期	教室名	603教室
担 当 教 員	松尾 泰子				
実務経験と その関連資格	言語聴覚士として小児通園施設での勤務を経て、2003年より大阪医療福祉専門学校 学内実習施設「ことばの相談室」を開室し発達障害児の言語訓練及び保護者相談に従事している。 日本言語聴覚士協会 会員 生涯学習部部員 日本発達障害学会 会員 大阪府言語聴覚士会 会員				
《授業科目における学習内容》					
運動機能障害(脳性麻痺など)の基礎知識を知り、言語聴覚士としての関わりや援助についてグループワーク等を活用しながら学習していきます。 また、関連のある教科の復習とともに国家試験出題基準の用語を網羅していく中で、正しく使用できるようなアウトプットの時間を設けていきます。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験70% レポート30%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
(教科書)言語聴覚療法シリーズ12 改訂 言語発達障害Ⅲ(建帛社) (副読本)標準言語聴覚障害学 言語発達障害 第3版(医学書院) (参考)各コマごとに参考資料配布					
《授業外における学習方法》					
リハビリの共通用語も多く出てくるので、専門用語を使えるように復習をして下さい。					
《履修に当たっての留意点》					
脳性麻痺のお子さんや成人の方を目の前にして、コミュニケーションの視点から言語聴覚士として何ができるのかを一緒に考える時間にしたいと思います。1つの現象に固執せず、様々な方法論やコミュニケーション手段を考え、可能性を模索していけたらと思います。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	言語発達障害(脳性麻痺)による診断基準を説明できる	教科書*第1章p1～6 VTR	教科書の復習をしておいてください。	
	各コマにおける授業予定	授業計画説明／脳性麻痺(以下、CP)の概論(VTRによって概要を知る)			
第2回	授業を通じての到達目標	運動発達の正常と異常の大枠を説明できる 正常運動発達の概略を説明できる	教科書*第1章p28～49 *第1章p7～27・p118～p119	教科書の復習をしておいてください。	
	各コマにおける授業予定	原始反射と異常反射(グループワーク) 正常運動発達(全身と部位別)			
第3回	授業を通じての到達目標	運動学の基本的用語を用いることができる。	教科書*第1章p28～49	教科書の復習をしておいてください。	
	各コマにおける授業予定	原始反射と異常反射(グループワーク)			
第4回	授業を通じての到達目標	発症メカニズムを推論できる。	教科書*第2章	教科書の復習をしておいてください。	
	各コマにおける授業予定	脳性麻痺の基礎知識 (合併症)			
第5回	授業を通じての到達目標	重症心身障害児・者による診断基準を説明できる	教科書*第2章・第5章 VTR	教科書の復習をしておいてください。	
	各コマにおける授業予定	脳性麻痺の基礎知識 / 重症心身障害児・者			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法の評価診断の原則・手続きを説明できる	教科書＊第3章	教科書の復習をしておいてください。
	各コマにおける授業予定	小テスト / 言語障害の評価①		
第7回	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法の評価診断の原則・手続きを説明できる	教科書＊第3章	教科書の復習をしておいてください。
	各コマにおける授業予定	言語障害の評価②		
第8回	授業を通じての到達目標	収集する情報の種類と収集方法を説明し、模擬的に実施できる	教科書＊第3章	教科書の復習をしておいてください。
	各コマにおける授業予定	言語障害の評価③		
第9回	授業を通じての到達目標	ライフステージに合わせた訓練を説明できる	教科書 ＊第4章 VTR	教科書の復習をしておいてください。
	各コマにおける授業予定	訓練・アプローチ①		
第10回	授業を通じての到達目標	言語治療の原則とプロセスについて説明できる	教科書 ＊第4章 VTR	教科書の復習をしておいてください。
	各コマにおける授業予定	訓練・アプローチ②		
第11回	授業を通じての到達目標	言語治療の原則とプロセスについて説明できる	教科書 ＊第4章 VTR	教科書の復習をしておいてください。
	各コマにおける授業予定	訓練・アプローチ③		
第12回	授業を通じての到達目標	ケースカンファレンスで報告する事項を整理し、模擬的に報告できる	教科書	教科書の復習をしておいてください。
	各コマにおける授業予定	症例検討(グループワーク)		
第13回	授業を通じての到達目標	呼吸リハビリテーションについて理解する。他職種連携を知る。	資料	呼吸に関連する教科書の復習をしておいてください。
	各コマにおける授業予定	PTの先生より、呼吸リハの介助方法を実技演習する		
第14回	授業を通じての到達目標	言語治療としてAAC機器の原則と使用について説明できる	教科書 VTR	教科書の復習をしておいてください。
	各コマにおける授業予定	＊AAC機器(業者)		
第15回	授業を通じての到達目標	言語治療としてAAC機器の原則と使用について説明できる	教科書＊第4章—V	教科書の復習をしておいてください。
	各コマにおける授業予定	＊AAC機器(業者)		